

「(仮称)改定滋賀県低炭素社会づくり推進計画(素案)」に関する  
意見交換(県政モニタートーク)の概要

<日時> 平成28年12月19日(土曜日) 10:00~11:40

<場所> 滋賀県立男女共同参画センター特別会議室

<参加者> 県政モニター: 10名

県: 4名(温暖化対策課長、温暖化対策課参事ほか) 計14名

<開催の目的>

本県では、2030年の低炭素社会の実現を目指して、平成24年3月に「滋賀県低炭素社会づくり推進計画(以下、推進計画)」を策定し、取組を進めています。

今年度、世界や国の動向を踏まえるとともに、策定から5年が経過したことから、「推進計画」の改定を進めているところです。

この「推進計画」の素案に対しての御意見や、低炭素社会づくりの取組に必要な視点に関するアドバイス等をいただき、今後の改定作業や温暖化対策等の施策に活かしていくことを目的とし、県政モニターの方との意見交換を実施しました。

<概要>

10:00 開会・挨拶・参加者紹介

10:10~ 「低炭素社会づくり推進計画の改定素案について」県から説明

10:45~ 意見交換

11:40 閉会

【主な御意見】

温暖化全般に係る意見について

- 二酸化炭素の削減効果と実際の気温の変化の関係性がよくわからない。太陽の黒点の影響等、二酸化炭素以外の影響はないのか。温暖化対策は世界規模で考えないといけない。
- 地球の温暖化は確実に進んでいると思う。ただ本当に二酸化炭素だけなのかという疑問がある。火山の活動やその他の影響を差し引いた影響も見せないと説得力に乏しいと思われる。

温室効果ガス削減対策に係る全般的な意見について

- 計画には様々な取組等が記載されているが、実際の財源や予算の確保はどのようになっているのか。温暖化対策への負担が増えれば、一方で企業の雇い止めや家庭における家計の負担にもつながると思われる。
- 経済レベルの話と個人レベルの話があると思うが、まずは個人として何をすることが重要だと思う。

### 家庭部門の取組に関する意見について

- 家庭で実際に行う取組をもっと具体的に示す方がよいのではないか。省エネ効果、二酸化炭素排出量の削減効果など見える化が必要。
- 計画では家庭部門で「10%削減」と書いてあるが、どれくらいやればいいのか分かりづらいので、削減の目安みたいな表（ミニカード）を一人一人が常に持って、「今日は〇%頑張った」などが見られるような、もっと分かりやすいツールがあればいいと思う。

### 産業・業務（事業者）の取組に関する意見について

- 企業での取組は県の計画にある目標を目指すのではなく、ほとんどが前年度対比で考えている。この考え方は達成しやすい目標として設定されていることが多いため、県からもっと積極的な指導等ができればいいと思う。
- 滋賀県は、戦後、経済成長の中で、企業誘致をしてきたことで、成長し、現在に至る。CO<sub>2</sub>の削減の取組を進めることで、事業が成り立たなくなる企業も出てきて、失業者の増加にもつながる、協力できない企業も出てくる。脱原発を進めることで県内企業の負担が増加する影響があるとも聞いたので、そういった点にも配慮していただきたい。
- コンビニ弁当のプラスチック容器等が、ゴミになったり、製造段階で石油を使用したりするため、自分でマイ容器を持って店に行き、バイキング形式のような形にすればエコにつながると思う。

### 産業振興・技術革新に関することについて

- 二酸化炭素を減らす取組を進めている一方で、2010年以降、太陽光の発電効率や車の燃費の向上などの技術革新もあったと思うので、そういったことについても記載していただきたい。
- 直流電力、交流電力の両方に対応した製品が普及すればもっと省エネにつながると考える。
- 企業も自分が持っているノウハウを活用し、違う分野に参入することも検討していかないといけないと思う。将来的に雇用も守り、温暖化対策にも貢献するような製品の製造等を行う技術革新が必要で、県としてもそれらの技術革新を後押ししていただく必要があると考える。
- 国も含めた共同プロジェクトを実施して技術革新を進めていく必要がある。
- 今日の新聞で下水処理による発電技術の紹介があったが、県での他の技術の開発・採用状況等を知りたい。

### 運輸部門の取組に関する意見について

- 県立施設の設置場所が、全て車がないと行けない場所にある。バス等の公共交通の便も悪く、県民にとって、とても大切で重要な施設がそういった車でしか行きにくい場所にあるのはどうしてなのかと疑問に思う。
- 滋賀県の観光地もほとんどが車でしか行けない場所にある。観光に来る分にはお金を落としてもらえるので経済的には良いと思うが、滋賀県は北陸や中部とも隣接し、通り過ぎるだけの車も多いため、温暖化の観点で何か対策ができないかと思う。
- 昔はバスも多かったが最近ほとんど便がなくなったため、現状は車がないと生活できず、昔の昭和レベルの生活を覚悟する必要がある。
- ガソリンに炭素税を導入するのもいいと思う。

### 適応策の取組に関する意見について

- 今回から新たに「適応策」が加わったことをうれしく思う。
- 小さい子どもを持つ親としては「適応策」に関心がある。特に健康分野の「感染症」については、最近、新型ウイルス等が流行しだすことが多くなっているように思う。適応策についても緩和策と併せて予算を確保いただき、例えば、感染症予防のための消毒液の配布等、目に見える対策についても強化いただきたい。

(意見交換会の様子)

